															半成:	2 4 年度
サ ル		_	機械要素設計						112	+1	-		[) •	ببر	√	
枓	目	名	Machine Element Design					担	当	教	貞		十河	太	仃	
쁘		ᇨ	Macnir 4	ne Elemei 学			左	エ リ	目		_	00400	124	<i>]</i> .	米片	Ω.
<u>学</u> 分		年 野			期	通	年							位	釵	2
ガ		鄞	専門 1 記計は後老の	授業用		講る表が	義		修				必履いなる		でった	Z
₩ 2		標	1. 設計技術者の													
	151 C		2. 設計の分野に 解れ得る													に適用
子	百日											長などから探す				1 13
			3. 力学系に関す できる	る基礎知	識を,	簡単な	、機械シ	゚スゔ	ァム	を	構瓦	又する要素の設	計に適	用す	るこ	とか
-)= [] :	, . 	<u> </u>	t) - 1\ \r	. ,	<i>⊱</i> -		+	5 10 16 3 ++ 1 -=	131 VI)		₩.か! ** `
\#	め	方	1. 機械システムに用いている主要要素に分類し、各要素の規格や基本設計手法について教科書を 用いて講義を行い、演習問題により規格や設計手法の利用法について理解を深める													
進			用いて講義を行い、便管問題により規格や設計手伝の利用伝について理解を係める 2. 教科書で不十分な点は、ノート講義とする													
-							をとする	1				<u> </u>	中心准			
				習項目(時	间致/)		-				合格判	定水準			
			0. 全体ガイダンス (1)						/ 	<u>,</u> ,ታ.	7 M	ひ 亜州ラ ニンニ	┲ ┲	- y ·	- 1, ⊇	ごっしっ
			1. 概要説明 (1)									必要性についっ				
			(1)機械要素設計と他の科目との関係									設計法につい ^っ ることができる		すべ	<i>/</i> —	で変考し
			(2)許容応力と安全率											וב	÷n.⇒	ᅡᆉᄭᅖᅺ
			2. 締結要素 (12)								する強度計算ュ ら探すことが ^っ		てし,	設計	「に必要な	
			(1)ね じ					1.	只见	. 11	(/)-	91X 9 C C A	600			
			(2)溶 接	(2)				-								
			[前期中間試験]		⇒×	(1)		-								
			試験答案の返却		記	(1)						22// 100 2 2 2 100	A 76-1		ata 15 3	>== 1 m >
			3. キー溝のない	==== (8)								が作用する場合				
			(1)軸の種類	L D 7) '		. ~ ±1 = -	7.A. F-					事項を表から持				
学			(2)曲げかトルク									が作用する場合			単荷 重	区置き担
			(3)曲げとトルク		こ受け	る軸の						式を扱うことだ				
			4. キー溝のある	軸 (5)								軸の強度設計に				
	য়ত ⊶ -		前期末試験	1.65 1. 200 4	⇒×	(1)		(Ć	() ()	19	か	事項を表から技	末すこと	[D)	じさる)
	習内	谷	試験答案の返却および解説 (1) 5. 軸 受 (6) (1)軸受の種類と規格									., <u>.</u>				
								・軸受の呼び番号より、軸受の主要寸法表か の名称と概略寸法を求めることができる					さから軸気			
			(2)寿 命 (3)軸受の固定方法					・軸受寿命算出式の説明ができ、寿命算出に必要な 事項を表から探すことができる ・歯車の基本事項について、教科書やノートを参考 にして概説することができる ・転位歯車が必要な理由について、教科書やノート								
			(3) 軸受の固定方法 6. 歯 車 (7)													
			6. 密 単 (7) (1)種類と特長													
			(1) 種類と特女 (2) 歯車各部の名称と規格													
				– . , =	-	·告古									仪件書	テマノー
			(3)歯の干渉と限界歯数,転位歯車 「後期中間試験] (2)				を参考にして概説することができる 									
					計	(1)										
			試験答案の返却および解説 (1) 10. 設計における技術者倫理 (1)				.	 ・設計技術者の職務上における責任につい [*]						て 白と		
			11. 歯 車 (12)									:章にまとめることができる				C, E7
			(1) 平歯車 (2) はすば歯車								単によこのし、 強度計算に用い		_		設計によ	
			(1) 平圏 単 (2) は 9 は 圏 単 (3) か さ 歯 車 (4) ウォームギヤ									^{强及} 可募に用い 表から探すこと			八し,	良人日(し火
			- (3)かる歯単 - 後期末試験	(1) 7	<i>~</i>	-1:1		┧^	J- 3	_	,		、	. 🕠		
		ŀ	送朔木氏版 試験答案の返却	および解	記	(1)										
		\dashv	・4回の定期試験				上淮た港	<u> </u> ナー	7	1,1	スチ	いを判定する				
評	価方	法											て. 提	出物	かかか	い場合け
"'			・各試験期において,提出物がある場合は試験を90%,提出物を10%として,提出物がない場合は 試験のみで評価する													
			プログラム指定科	·目												
			○ A(3) 技術が自然や社会に及ぼす影響と技術者の責任を認識し、事故や不正の事例を通じて													
兴	習 育目 の関	· 標 係	OA(3) 1XMが自然で任云に及ばり影響と1XM有の負性を認識し、事故で不正の事例を通して それを説明することができる													
教			◎B(8) 設計と生産・管理の分野において,自然科学の知識を組合わせ理想化した例題や													
												•				
			◎E(1) 機械工	学に関す	る基础	歴知識 を	′,簡単	なね	後械	シ	スラ	テムの設計に適	囲する	こと	がで	きる
				* · - IV1 /	اتملت س	, _ , pay C	- , IP4 [J- 1/	>~ P2N	•		- PA H I I - NO	_,,, , ,		`	

関連科目	基礎力学(3年) 材料力学(3,4年) → 機械要素設計(4年) → 機械力学(5年) メカトロニクスシステム設計(4年) 工学実験Ⅱ(4年)					
教 材	教科書:林 則行他 「機械設計法」 森北出版 ISBN 978-4-627-61041-5 参考書:材料力学,基礎力学,設計製図で使用する教科書					
備考	・材料力学、基礎力学の知識が必要となるので、随時復習が必要 ・専門用語が適切に使用できるように復習が必要 ・許容応力法の意味を理解するための演習が必要 ・機能・強度設計に必要な図表が正しく読めるようにするための演習が必要 ・第3者が理解できる設計計算書を書くための表現法を習得するための演習が必要 ・後期期末試験には、総合問題を出題					